

デニスガイドワイヤー

再使用禁止

【警告】

<使用方法>

- 1.使用前にディスペンサ及びチューブ排液腔内に滅菌蒸留水又は生理食塩液を先端から流出するまで注入すること。[水道水を使用した場合や注水が不完全な場合、ガイドワイヤーの潤滑性が発揮できなくなり、挿入又は抜去が困難になるため。]
- 2.チューブ排液腔内に10分に一度程度を目安に追加注水を行うこと。[生乾き状態で使用するとガイドワイヤーの潤滑性が発揮できなくなり、挿入又は抜去が困難になるため。]

【禁忌・禁止】

<使用方法>

- 1.再使用禁止
- 2.再滅菌禁止
- 3.ガイドワイヤーにアルコール等の有機溶剤を接触させないこと。[有機溶剤に接触すると潤滑性が損なわれ、抵抗が高くなって挿入しづらくなるため。]
- 4.ガイドワイヤーには滅菌蒸留水又は生理食塩液以外は使用しないこと。[ガイドワイヤーの潤滑性が発揮できなくなり、挿入又は抜去が困難になるため。]

【形状・構造及び原理等】



本品は、小腸又は大腸の管腔に留置するカテーテルやチューブ等の挿入補助として、位置調整及び移動の補助のために一時的に使用するガイドワイヤーである。コア線の先端がテーパー状になっているため、ガイドワイヤーの先端部は柔軟性を持つ。また、ガイドワイヤー表面は、親水性による潤滑性を機能とする表面処理剤を塗布している。ガイドワイヤー及びガイドワイヤーを収納するディスペンサから構成される。

(種類)

*最大外径：mm (inch)	長さ：cm
1.15(0.045)	210
*1.37(0.054)	350又は450

<原材料>

ガイドワイヤー：ポリアミドエラストマー、三酸化ビスマス、ポリビニルピロリドン、ニトロセルロース、ポリウレタン

【使用目的又は効果】

本品は、小腸又は大腸の管腔に留置するカテーテルやチューブ等の挿入補助として、位置調整及び移動の補助のために一時的に使用するものである(血管内に挿入して使用することは除く)。

【使用方法等】

- 1.ディスペンサのフラッシュアダプタを通じて、ディスペンサ内を滅菌蒸留水又は生理食塩液で十分満たす。
(注意)オリーブ油は使用しないこと。[ガイドワイヤーの親水性が発揮しなくなるため。]
- 2.挿入するカテーテル、チューブ等の排液腔を滅菌蒸留水又は生理食塩液で満たし、ガイドワイヤーをディスペンサから引き出して排液腔からチューブの先端まで挿入する。
(注意)ガイドワイヤーは破損防止のため、ゆっくりとディスペンサから引き出すこと。
(注意)ガイドワイヤーの潤滑性を維持するために、ガイドワイヤー表面を常に濡れた状態にしておくこと。[ガイドワイヤーの表面が乾いた状態でディスペンサから引き出すとガイドワイヤーの表面を被覆している樹脂が変形するおそれがあり、その結果、デニスチューブ等の挿入操作に支障を来す可能性があるため。]
(注意)ガイドワイヤー操作中に抵抗を感じるときは操作を中断して滅菌蒸留水又は生理食塩液を追加注入し、潤滑性が回復したら、操作を再開すること。[抵抗を感じるのはガイドワイヤー表面が乾いて潤滑性が低下してきたと考えられるため。]
- 3.チューブと共に体内へ挿入し、挿入後にガイドワイヤーを引き抜く。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

- ガイドワイヤーの挿入はエックス線透視下で行うこと。
- 本品挿入に際しては、気管への誤挿入に十分注意し、消化管に正しく挿入されていることを確認すること。

2.不具合・有害事象

本品の挿入操作中に、以下の不具合・有害事象がまれにあらわれることがあるので、異常が認められたら直ちに適切な処置をすること。

その他の不具合

ガイドワイヤーの折れ、曲がり、損傷、破断、切断。

重大な有害事象

消化管穿孔、出血

【保管方法及び有効期間等】

1.保管の条件

室温下で、水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

2.有効期間

包装上に記載(自己認証(当社データ)による)。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

※製造販売業者

※カーディナルヘルス株式会社

カスタマーサポートセンター:0120-917-205